

テーマ

## 英語のリズム・日本語のリズム

適用  
分野

第2言語習得、TESL/TEFL、speech production/perception



研究  
名称

ローパス・フィルター音は聴き取り、発音にどのような影響をもたらすか

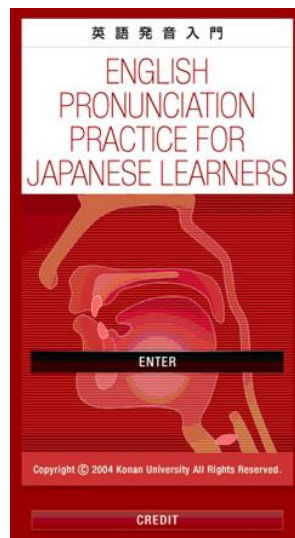
氏名  
所属

伊庭 緑 教授  
国際言語文化センター

内容

### ●研究内容

日本語は mora-timed language, 英語は stress-timed language と言われている。2つの言語のリズムは大きく異なります。日本人が映画の英語の台詞やテレビの英語のニュースを聞いても「速くて何を言っているかわからない」と言う場合、本当に速くしゃべっているからわからないというよりも英語の音の変化に慣れていないからわからないという場合も多いのです。リズムやイントネーションのことをまとめてプロソディといいます。ではどうすればプロソディを効果的に学習できるのでしょうか。



会話音の周波数領域は200Hz～2000Hzといわれていますが、その周波数領域の200Hz以下だけを音声フィルターにかけて通すと不明瞭な音(ローパス・フィルター音)が聞こえてきて会話の意味はわかりません。ただプロソディはかえってはっきりするので英語の聴き取りや発音の訓練に役立つそうです。

現在の私の研究テーマは本当にローパス・フィルター音がプロソディ習得に効果があるのかを検証することです。そのためにコンピュータのソフトウェアを作成して実験を行っています。

左はローパス音を入れずにつくった英語発音入門というソフトですが、ローパスの効果を検証されればまた新たなバージョンを作りたいと思っています。

<http://kccn.konan-u.ac.jp/ilc/english/>

キーワード

プロソディ、ローパス・フィルター、英語発音練習ソフト

連携方法

■ 講演   ■ 研修   ■ 研究相談   □ 学術調査   ■ コメント   ■ 共同研究